

# 門司中学校 実践交流会 分散会 第1ブース

社会科 第3学年

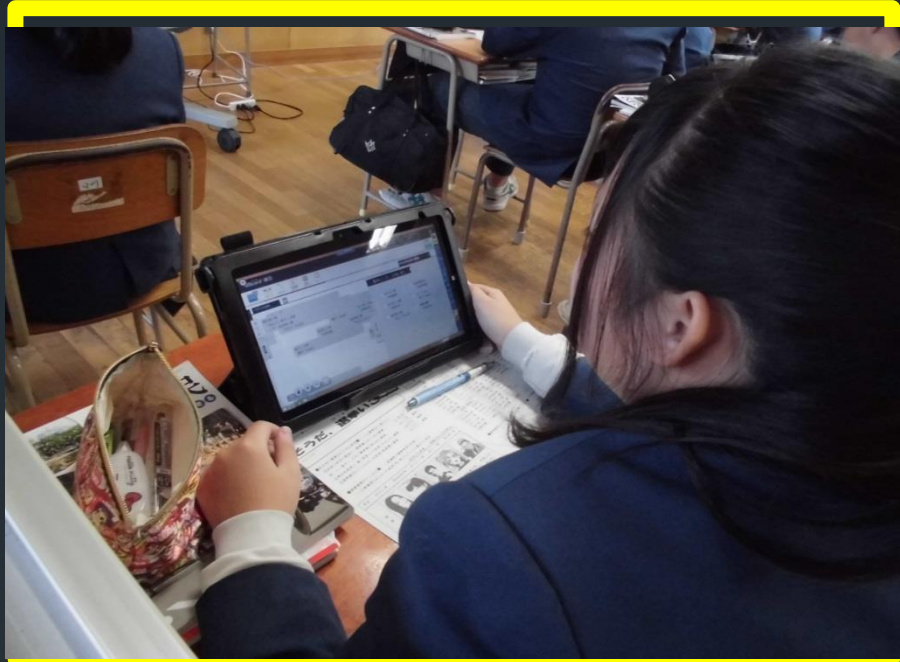
単元名

民主主義と日本の政治

# 授業のねらい

小選挙区制による模擬選挙を体験し、その問題点について考える活動を通して、小選挙区制のしくみとその問題点について自分の言葉で説明できるようにする。

# ICT機器の活用場面①



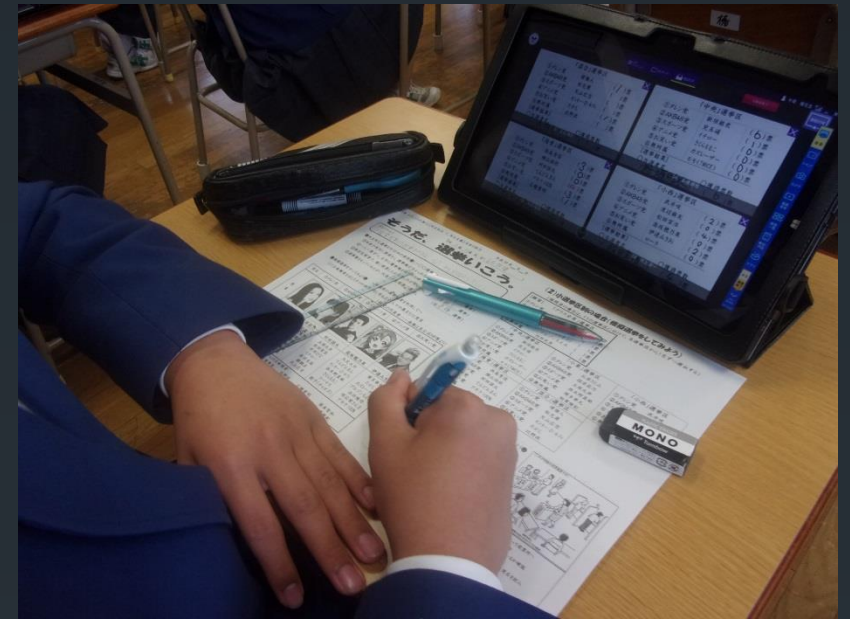
Benesse「ミライシード ムーブノート」の機能を使い、模擬選挙を行った。集計をすぐに出すことができ、時間短縮ができた。

# ICT機器の活用場面②

選挙区制の問題点 まとめカード(文字入力)

① たった一票でも大きな差になって結果に出てくる。(一票の格差)

② 特に人口が多い選挙区の場合、死票が多くなりやすい。(他の人が良かったのに・・・など)



それぞれの選挙区の選挙結果を見て、気付いたことを書き、提出BOXに提出する。全員で確認し、小選挙区制の問題点を考える。

# 生徒の反応

- ・タブレットPCを使用した授業は生徒の関心・意欲がとても高い。
- ・瞬時に選挙(投票)結果を表示することができたため、小選挙区制の問題点を深く考えさせる時間が設けられ、その結果、理解が深まった。
- ・挙手—指名型の発問では、発言をした生徒だけの意見しか知ることができないが、一人一台タブレットPCを配布し、画面共有をすることで、クラス全員の意見を知ることができ、他者の意見を参考にしたり、自分の考えを加筆・修正したりすることができた。

# 成果と課題

## <成果>

- ・ICT機器を使用せずに実践していた授業案を,ICTを活用する授業案に修正して行った。授業準備にかかる時間はそれまでよりも多くなったものの,模擬選挙の集計にかかる時間が大幅に短縮され,その時間をより深く考えさせたり,まとめと振り返りの時間に充てたりすることができた。
- ・小グループで話し合っ深めた個人の考えや,班の考えを,『オクリンク』の提出BOX機能を利用することで,事後の評価に活用できたり,単元の終わりなどで生徒に再配布したりすることで生徒の単元の学習の振り返りを行うことができた。